

第19回伊那新校再編実施計画懇話会 地域説明会報告資料

令和6年度 伊那新校（仮称）地域説明会 参加者集計表

長野県教育委員会事務局
 高校教育課高校再編推進室

【参加者合計】 545人

全体合計	辰野町	箕輪町	南箕輪村	伊那市	宮田村	駒ケ根市	飯島町	中川村	その他	合計
人数	23	77	70	244	25	83	15	5	3	545

内訳（児童生徒：65人，保護者：391人，学校関係者：23人，同窓会：21人，地域住民：45人）

【第1回】 11/19(火)18:30～19:30 南箕輪村民センター 87人

第1回	辰野町	箕輪町	南箕輪村	伊那市	宮田村	駒ケ根市	飯島町	中川村	その他	合計
人数	5	21	42	17	2	0	0	0	0	87

内訳（児童生徒：9人，保護者：61人，学校関係者：2人，同窓会：5人，地域住民：10人）

【第2回】 11/22(金)18:30～19:30 赤穂公民館（駒ケ根市地域交流センター） 95人

第2回	辰野町	箕輪町	南箕輪村	伊那市	宮田村	駒ケ根市	飯島町	中川村	その他	合計
人数	0	4	0	3	8	66	9	3	2	95

内訳（児童生徒：11人，保護者：69人，学校関係者：6人，同窓会：2人，地域住民：7人）

【第3回】 11/25(月)18:30～19:30 いなっせ（伊那市生涯学習センター） 123人

第3回	辰野町	箕輪町	南箕輪村	伊那市	宮田村	駒ケ根市	飯島町	中川村	その他	合計
人数	4	13	8	89	2	6	1	0	0	123

内訳（児童生徒：14人，保護者：77人，学校関係者：8人，同窓会：9人，地域住民：15人）

【第4回】 12/1(日)10:00～11:00 伊那文化会館 240人

第4回	辰野町	箕輪町	南箕輪村	伊那市	宮田村	駒ケ根市	飯島町	中川村	その他	合計
人数	14	39	20	135	13	11	5	2	1	240

内訳（児童生徒：31人，保護者：184人，学校関係者：7人，同窓会：5人，地域住民：13人）

高校改革及び 伊那新校（仮称）校舎整備の概要

令和6年11月、12月 伊那新校（仮称）地域説明会



学校応援キャラクター「伊那なび助」
©長野県教育委員会採用ナビ助

長野県教育委員会事務局
高校教育課 高校再編推進室

1

I 高校改革の経緯

2017年3月 学びの改革 基本構想

➤ 「新たな社会を創造する力」を育む教育の推進と高校づくり

旧第12通学区ごとの地域懇談会 意見交換会 パブリックコメント 等

2018年9月 高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針

➤ 「新たな学びの推進」と「再編・整備計画」の方針

2

なぜ高校改革が必要なのか？

必要な能力の大転換

先端技術の急速な進歩

地球温暖化

VUCAの時代

雇用形態の変化

グローバル化の進展

今までの知識注入型の学びでは
もはや限界

新たな学びの推進



3

なぜ高校改革が必要なのか？

急激な少子化

～中学校卒業生数の推移～



次代の子どもたちに質の高い
学びの環境を提供するためには…

新たな高校づくり



4

高校改革が目指すもの

激変する社会への対応

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

次世代を担う子どもたちのための「高校改革」

- **すべての県立高校で進める改革**
- 少子化による単なる数合わせの再編・整備ではない
- 「**新たな社会を創造する力**」を育むための改革

5

I 高校改革の経緯

2017年3月 学びの改革 基本構想

- 「**新たな社会を創造する力**」を育む教育の推進と高校づくり

旧第12通学区ごとの地域懇談会 意見交換会 パブリックコメント 等

2018年9月 高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針

- 「**新たな学びの推進**」と「**再編・整備計画**」の方針

「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置

- 各旧通学区における高校の将来像について意見・提案書の策定
- 県教委への提出

6

上伊那地域の高校の将来像を考える協議会

「協議会」の概要

会 長	杉本幸治 前駒ヶ根市長
委 員	18名
活動期間	2018年（平成30年）6月～
意見提出	2019年（令和元年）9月18日



県教委へ意見提案書

上伊那 県内先駆け提出

7

「上伊那地域の高校の将来像を考える協議会」意見・提案

高校配置に関わる意見

都市部存立普通高校

- 一定規模を維持した普通科教育の拠点
- 最先端の学問研究や卓越した探究的な学び

総合学科高校

- 多様な生徒のニーズに応える幅広い学び
- キャリア教育を通じた進路選択につながる学び

総合技術高校

- 農業、工業、商業等の地域の重要産業の担い手育成
- 専門性の維持と専門分野の枠を越えた学び

中山間地存立校

- 地域と密着した地域の学びの拠点
- 学科の枠にとらわれない地域人材育成につながる学び

多部制・単位制高校 定時制高校

- 多様な学びや学び直しの機会につながる学びの場
- 現状の配置を維持しつついつでも学べる仕組み

8

2020年3月 【一次】（案）として示し、住民説明会 等

2020年(令和2年)9月 再編・整備計画【一次】

➤ 旧第1、6、8、9通学区の再編・整備計画を決定

2021年3月 【二次】（案）として示し、住民説明会 等

2021年(令和3年)9月 再編・整備計画【二次】

➤ 旧第2、5、8（未確定分）、10通学区の再編・整備計画を決定

2022年5月 【三次】（案）として示し、住民説明会 等

2023年(令和5年)1月 再編・整備計画【三次】

➤ 旧第3、4、7、11、12、定時制・通信制の再編・整備計画を決定

9

上伊那地域（旧第8通学区）再編・整備方針

伊那北と伊那弥生ヶ丘を再編統合

伊那新校（仮称）

辰野（商業）、箕輪進修（工業）
上伊那農業、駒ヶ根工業を再編統合

上伊那総合技術新校
（仮称）

赤穂高校を総合学科高校に転換
（赤穂高校定時制は新校定時制に移管）

赤穂総合学科新校（仮称）

辰野高校を全日制普通科高校とする

箕輪進修高校を多部制・単位制普通科高校とする

10

「高校改革」再編実施計画（伊那新校（仮称））

2020年(令和2年)11月 第1回再編実施計画懇話会

※ 現在までに18回実施

2022年(令和4年)2月 再編実施基本計画
教育委員会定例会にて決定

● 募集開始年度：令和10年度

● 活用する校地・校舎：伊那北高校

● 設置課程・学科

全日制課程 普通科（6）

特色学科（2）

※（ ）内は想定募集学級数

2022年(令和4年)3月 統合事件案 県議会にて同意

11

令和9年度

令和10年度

令和11年度

令和12年度

伊那北高校

③ 令和7年度入学
② 令和8年度入学
① 令和9年度入学

③ 令和8年度入学
② 令和9年度入学

③ 令和9年度入学

閉校

伊那弥生ヶ丘高校

③ 令和7年度入学
② 令和8年度入学
① 令和9年度入学

③ 令和8年度入学
② 令和9年度入学

③ 令和9年度入学

閉校

伊那新校（仮称）

開校

① 令和10年度入学

② 令和10年度入学
① 令和11年度入学

③ 令和10年度入学
② 令和11年度入学
① 令和12年度入学

令和9年度

令和10年度

令和11年度

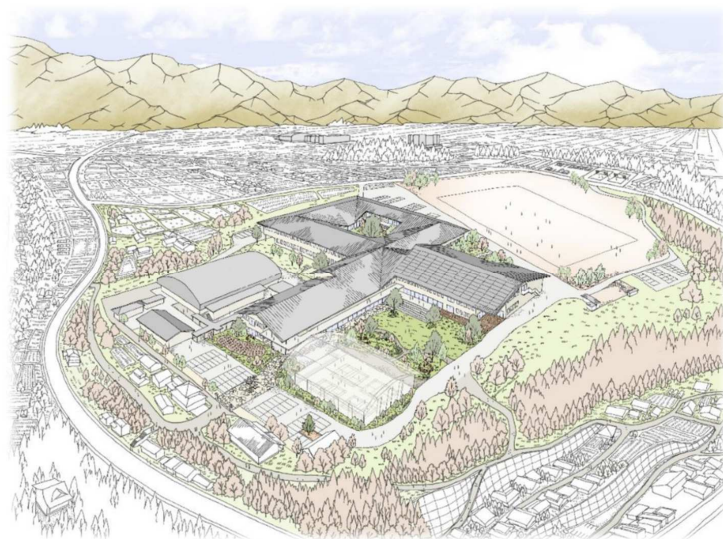
令和12年度

12

伊那新校（仮称） 新校舎のポイント



共に地域で学ぶコンソーシアム



※図は基本計画時点でのイメージであり、今後の設計により変更となる可能性があります。

13

「新しい学び」を支える校舎



共学フレキシブルラーニングエリア

共創フレキシブルラーニングエリア



※図は基本計画時点でのイメージであり、今後の設計により変更となる可能性があります。

14

校舎整備スケジュール（R6年11月現在）

▼現在	年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)
既存校舎解体(1)	プール/小体育館/音楽室/調理室ほか		解体工事					
仮設校舎(1)	音楽室/調理室ほか		新築工事		仮設校舎を54ヶ月利用			解体
新築校舎建設(1)	西棟			新築工事	新校舎の利用開始(西棟のみ)			
仮設校舎(2)	管理教室ほか			新築工事	仮設校舎を36ヶ月利用			解体
既存校舎解体(2)	北校舎/中校舎/南校舎ほか				解体工事			
新築校舎建設(2)	南棟/東棟/小体育館					新築工事		利用開始
グラウンド整備	外構/舗装/植栽ほか							整備工事

令和7年度入学生
(現在中学3年生)

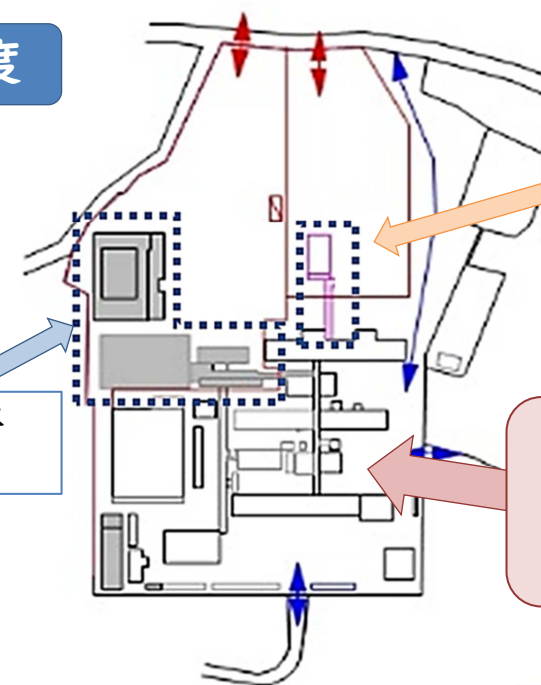
15

令和7年度

既存校舎解体
(1)

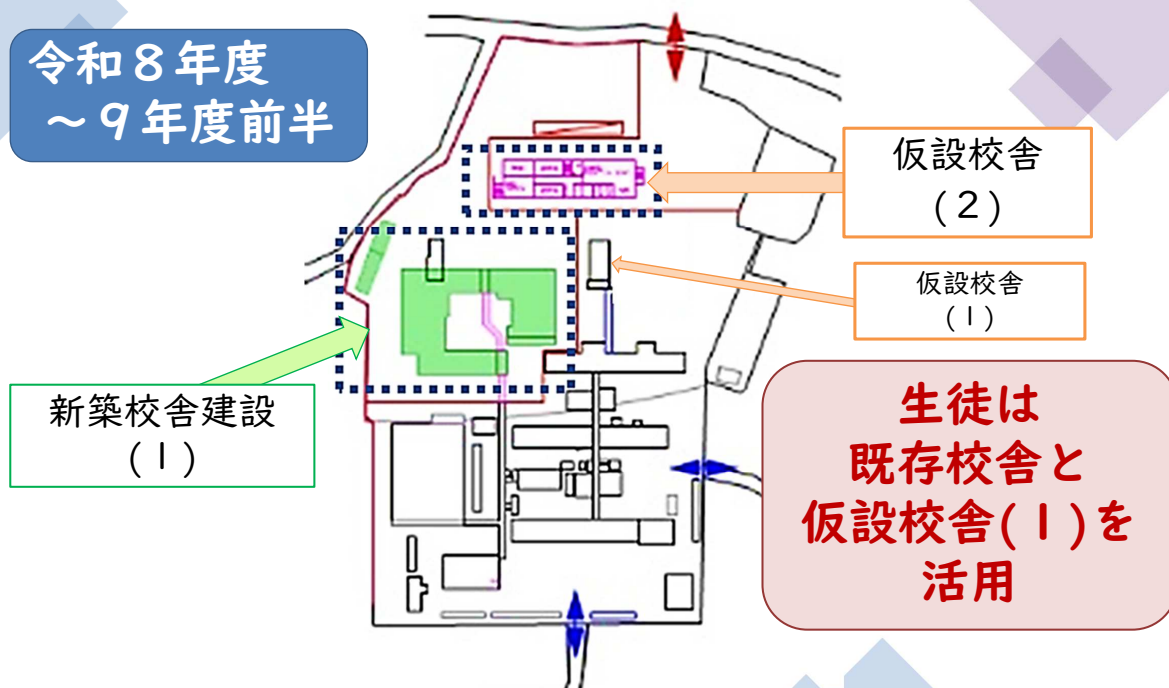
仮設校舎
(1)

生徒は
既存校舎を
活用



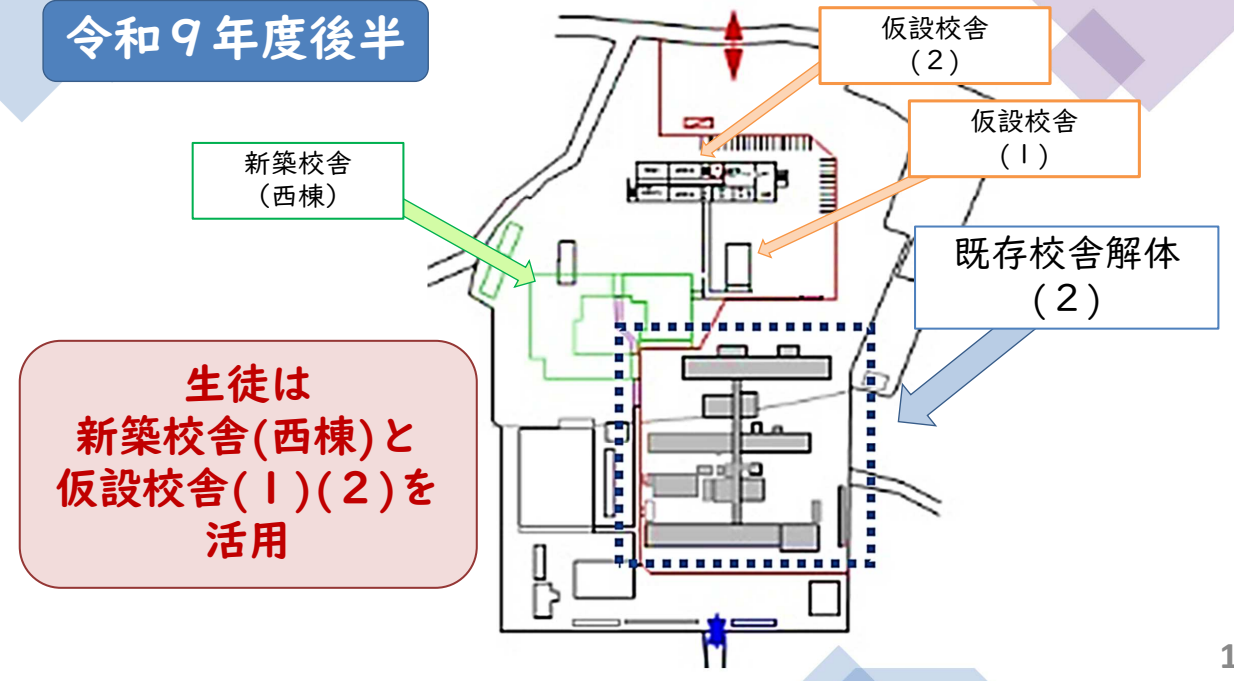
16

令和8年度
～9年度前半



17

令和9年度後半



18

工事期間中の学校生活について

★「グラウンドや小体育館が使用できない」とあるが、体育の授業や部活動はできるの？

★騒音は大丈夫？

★工事車両が通ると思うが、安全面は大丈夫？

19

ありがとうございました

20

The illustration shows two dishes. On the left is a bowl of salmon and rice, featuring a large piece of salmon, a piece of brown rice, and a piece of yellow rice. On the right is a plate of salmon sashimi, showing three pieces of salmon arranged with a green leaf garnish.

21

Illustration of a girl with dark hair holding a red gift box with a tag that says "FOR ME". A speech bubble above her says "どれも大切" (All are important). To the right, a diagram shows "抽象" (Abstract) at the top and "具体" (Concrete) at the bottom, connected by a blue upward arrow and a blue downward arrow.



22

共に学び、
共に創る

社会貢献・
社会創造へ

<他者との協働>
<高い進学率>
●生徒の成長

人間性

<多様な価値観の共有>

他者と向き合いながら、
社会をつくる共創的な学び

自己実現

<基礎学力>
<なりたい自分>

数科学習や探究学習を通じて
自己のキャリアを定める

主体性

<自主的・創造的な活動>

自分の特性や興味関心に
応じて、自ら学習を
進めていく

可能性を拓き、
夢の実現へ

<果敢に挑戦する>

受験時の変革

くくり募集
(検討中)

基礎学力
なりたい自分
学ぶ意欲

くくり募集とは?

・入学時に普通科と特色学科から選択しない、一括して募集するもので、
・入学後に共通科目を学びながら自分の将来の進路と関心・能力・適性などを、2年次に進路する前に学科を選択することが可能です。

くくり募集のメリット

様々な個性・学習進度など状況に応じて進路希望への柔軟な対応が期待でき、

● 入学を、ペースにした教育活動
● 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び
● 個別最適な学びを実現する「単位制」・文理融合した学び・教科横断型授業の展開

自ら学習を進めるためのコンテンツ

1 年

必修科目を
中心に履修

将来の進路希望や
適正をききあえる

従来の学び

ミックスした学び

探究のプロセス

・入学時に普通科と特色学科から選択しない、一括して募集するもので、
・入学後に共通科目を学びながら自分の将来の進路と関心・能力・適性などを、2年次に進路する前に学科を選択することが可能です。

2 年

自分の学びを自らデザインし、履修科目を選択

特色学科

・学問の真理を追求する
・意欲や課題解決への挑戦欲、
・使命感を育成する

3年次には、進5h制度 ※意欲コマも可、
自由に授業を選べる
自分の学びを探究

単位制を活かした個別最適な学び

普通科

理系

文理融合

文系

探究を核として
持続的な学びを実現する

3 年

進路実現に向けた準備

進路実現に向けた準備

・個別の進路に対応した学びと
多様な「マッチング」
・少人数講座などの実現

幅広い進路

多様な進路への「マッチング」

皇親関国公立大学
海外大学・留学
医学部
国立大学
私立大学
短期大学
専門学校
起業
就職

大学入学に「準備期」だけでなく、学びの過程で進路希望の「学習機会」「探究活動」などにより進路決定が促される

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

医療機関

大学

企業

自治体

国際機関

上伊那広域連合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
全生徒	現代の 国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ		物理基礎		生物基礎		英語コミュニ ケーションⅠ		音楽Ⅰ/ 美術Ⅰ		体育		保健		家庭基礎		総 探		数学A		論理・ 表現Ⅰ		LH				

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
文系	情報Ⅰ	公共	体育	保健	化学基礎 /地学基礎	総探	古典探究	*考究現代文	数学Ⅱ	数学B	数学C	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	地理探究/ 日本史探究/ 世界史探究	地理探究/日本 史探究/世界史 探究/・国語探 究/・英語活 用/芸術I・II																

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
理系	情報Ⅰ	公共	体育	保健	化学基礎	総探	古典探究	*考究現代文	数学Ⅱ	数学B	数学C	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	化学	物理/生物	LH																

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	3
探究	情報Ⅰ	公共	体育	保健	化学基礎/ 地学基礎	*学際 探究	*考究古 典	*考究 現代文	数学Ⅱ	数学 B	数学 C	*学際英語α	*学際 英語β	地理探究/ 日本史探究 /世界史探 究	*探究α ²⁴	LP																

3年次:①抽象と具体の行き来 ②短期的な目標達成

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
最 難 関	体育			古典探究			* 考究現 代文	英語コミュ ニケーションⅢ	論理・表 現Ⅲ	地理探究/日本史探 究/世界史探究			地理探究/日本史 探究/世界史探 究			* 理科基礎			* 数学研究α			* 数学研究γ			* 英語探 究/ * 考 究国語	LHR					
探 究	体育			古典探究			* 考究現 代文	英語コミュ ニケーションⅢ	論理・表 現Ⅲ	地理探究/日本史探 究/世界史探究			地理探究/日本史 探究/世界史探究/ 倫理/政治・経済			* 理科基礎な ど			* 数学研究α など			* 探究β			* 発展古 典/ * PES						
難 関 理 系	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	体育			古典探究			* 考究現 代文	英語コミュ ニケーションⅢ	論理・表 現Ⅲ	化学			物理/生物			数学Ⅲ			数学C			* 数学研 究β			地理探究/ 政治・経済			LHR			
私 立 理 系	体育			古典探究			* 考究現 代文	英語コミュ ニケーションⅢ	論理・表 現Ⅲ	化学			物理/生物			数学Ⅲ			数学C			* 数学研 究β			* 数学研究γ						

小中高大・地域連携



- 例
- ・伊那中学校
 - ・信州大学農学部
 - ・伊那広域連合
 - ・地域の方
 - ・地域の企業
 - ・地域の病院

具体の収集・抽象の共有 → 生徒・社会の成長へ

伊那新校（仮称） 令和 6 年度地域説明会

質疑応答まとめ

○開催日時・会場

開催日	時 間	会 場
11 月 19 日（火）	18：30～19：30	南箕輪村民センター ホール
11 月 22 日（金）	18：30～19：30	駒ヶ根市地域交流センター ホール （赤穂公民館）
11 月 25 日（月）	18：30～19：30	ニシザワいなっせ ホール （伊那市生涯学習センター 6 階）
12 月 1 日（日）	10：00～11：00	長野県伊那文化会館 小ホール

○質疑応答

地域説明会で出された質問に対する回答をまとめました。

【学びについて】

Q 1 伊那新校のカリキュラムが始まるのはいつからですか？また、開校までの伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校のカリキュラムについても教えてください。

A 伊那新校のカリキュラムは開校と同時に令和 10 年度入学生から導入します。これに先行して、伊那北高校では令和 7 年度入学生から、令和 8 年度入学生からは両校で、伊那新校に準じたカリキュラムを導入する予定です。また、伊那北高校では令和 7 年度入学生から単位制を導入する予定であり、高校 3 年生になったとき、現在よりも柔軟に進路に応じた授業を選択できるようにする予定です。

Q 2 伊那新校の 2 年生からのカリキュラムはどう決まりますか？

A 2 年生からは自分が希望する進路に合わせて授業を選択でき、3 年生ではさらに細分化して授業が選択できるようなカリキュラムを検討しています。

Q 3 幅広い学問分野に対応するため、教員の人数が必要になると思いますが、確保はできますか？

A 単位制を導入することにより開講する授業数が増えることが考えられるため、その場合には、それに必要な数の職員を配置できるように努めます。

【生徒会活動・特別活動について】

Q 4 令和 10 年度と令和 11 年度には 3 校が存在しますが、クラブ活動はどうなりますか？また、令和 10 年度から伊那弥生ヶ丘高校に新入生が入学してこなくなりますか、どうなりますか？

A 各クラブの事情に応じて、3 校で合同チームを編成して大会等に出場することができます。伊那弥生ヶ丘高校の生徒もクラブ活動が十分できるように配慮していきます。

Q 5 伊那北高校のグラウンドが使えなくなった場合、学校行事、生徒会活動やクラブ活動はどうなりますか？

A 様々な行事や活動への影響が少なくなるように、現在、伊那市と体育施設の使用について協議をしています。

【学校生活について】

Q 6 令和 10 年度と令和 11 年度には 3 校が存在しますが、文化祭はどうなりますか？

A 今後、単独開催、合同開催等について具体的に検討していきます。

Q 7 伊那新校に制服はありますか？

A 伊那新校の制服の有無については、今後、検討していきます。

【校舎整備について】

Q 8 校舎整備のスケジュールは余裕を持ったスケジュールですか？それともタイトなスケジュールですか？

A 生徒等学校利用者の安全確保や週休 2 日工事の実施を踏まえ、適正な工期を確保できるよう計画しています。

Q 9 5年ほど前の説明会では令和6年度に校舎が完成し、令和7年度に新校が開校するというスケジュールを聞いたと思います。スケジュールが遅れた理由と、途中で遅れることに関する説明会などはあったのかを教えてください。

A 開校時期については、令和4年2月県議会において施設整備の期間も考慮し、令和10年度に開校することで同意をいただきました。伊那新校再編実施計画懇話会において、施設整備についての検討を重ねる中で、地域の皆様からのご意見を尊重し、在校生の学びも大切に考えた結果、校舎の竣工時期が遅れることとなったことについてはご理解ください。

Q10 令和7年度に仮設校舎(1)が建設されて、令和9年度に仮設校舎(2)が建設されますが、どの学年が仮設校舎に入るのか決まっていますか？

A 仮設校舎(1)は音楽室と調理室のみです。仮設校舎(2)は管理棟や図書室などの特別教室棟になります。令和9年度に新校舎の西棟完成後は、西棟の普通教室を中心にホームルームを置く想定ですが、クラスや学年の配置は検討中です。

Q11 伊那新校のグラウンドは全天候型の人工芝になりますか？

A グラウンドを人工芝にする計画はありません。

Q12 今後、校舎整備の詳しい説明会はありますか？

A 地域説明会は来年度も実施する予定です。また、校舎整備の進捗状況は伊那新校再編実施計画懇話会や伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校のホームページで順次、公表していく予定です。

【仮設校舎について】

Q13 仮設校舎のスペックを詳しく教えてください。

A 現在の教室と同等程度の教育環境が確保できるよう規模・設備を検討中です。また、騒音対策の観点から、二重サッシの採用及び断熱材入りの壁の採用を併せて検討中です。空調及びトイレについては、教室にはエアコンを設置し、複数棟計画している仮設校舎に必要な数のトイレを設置します。

Q14 仮設校舎の再利用はするのですか？

A 仮設校舎はリースです。新校舎完成後に撤去します。

Q15 小学校6年生が入学するときの学習環境への影響はどうか詳しく教えてください。

A 新校開校となる令和10年度には、新校舎の西棟は完成していますが、既存校舎の解体および新築工事が行われています。全校舎完成までは、新校舎西棟と仮設校舎の併用となりますが、学校生活や学習環境に可能な限り支障のないように配慮していきたいと考えています。

Q16 小体育館が解体されてグラウンドも使用できなくなりますが、校舎整備中の体育施設はどうなりますか？

A 既存の大体育館のほか、周辺の体育施設の使用や、仮設の屋内運動場の建設を検討しています。

【騒音対策について】

Q17 令和7年度の解体工事中の既存校舎の騒音対策は十分でしょうか？

A 仮設校舎はサッシを二重にすることで遮音対策をします。既存校舎は、仮囲いや遮音シートなどの対策をできる限り行います。

Q18 夏場、猛暑の中、防音対策のために窓を閉めて授業をすることは可能でしょうか？

A 既存校舎の普通教室にはエアコンが設置されているため、可能であると考えています。

【跡地利用について】

Q19 伊那弥生ヶ丘高校の跡地利用について教えてください。

A 地域の意向を考慮しつつ、効果的な利活用に向けて検討していきます。

【高校入試について】

Q20 伊那新校の募集定員はどのくらいですか？

A 再編実施基本計画では8学級、320人を想定していますが、新校開校時の募集学級数は毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により、開校前年度に決定されます。

Q21 伊那新校について、どのくらいの偏差値があれば入学できますか？

A 県教育委員会として、偏差値は考えていません。生徒本人の興味や関心、希望する進路に合わせた科目を選択して、探究的な学びを深め、可能性を拓き、夢の実現へ果敢に挑戦できるような学校にしていきたいと考えています。

Q22 令和8年度の入試で伊那北高校は普通科と理数科のくくり募集を実施するのでしょうか？前期選抜はどうなりますか？

A くくり募集及び前期選抜については現在検討中です。決まり次第、伊那北高校のホームページなどでお知らせします。

Q23 募集定員はいつから減りますか？

A 上伊那地域は令和8年度に前年度に比べて中学校卒業予定者が100名以上減る予定ですが、募集学級数は毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により、開校前年度に決定されます。

【その他】

Q24 問合せ先を教えてください。

A 現在の高校についての質問は各校にお問合わせください。
伊那北高校 (電話：0265-72-2221)
伊那弥生ヶ丘高校 (電話：0265-72-6118)
伊那新校についての質問は高校再編推進室 (電話：026-235-7452) へお問合わせください。